



なつやすみ、どのほん よもうかな？ (1、2ねんせい)

ものぐさ トミー

ぶん え まつおかきょうこ やく
ペーン・デュボア / 文・絵 松岡享子 / 訳
いわなみしよてん
岩波書店 (E きん / モ)

トミーは でんきじかけの いえに すんで
います。はみがきも、おふろも、ぜんぶ
きかいが やってくれます。ところがある
ひ、でんせんが きれて、ていでんに な
りました。トミーは どうなったでしょうか。



かみなり

ただ やすお かんしゅう しゃしん こすぎ こうせい ぶん
武田康男 / 監修・写真 小杉みのり / 構成・文
いわなみしよてん
岩波書店 (E ちしきーそら)

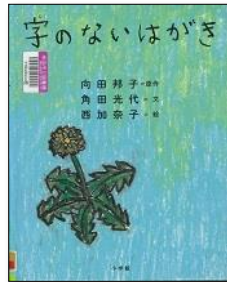
ゴロゴロ、びかっ。かみなりは どこでどう
やって うまれるのでしょうか。はじまりは、
そらに ぼっかり うかんだ わたぐも。わ
たぐもは にゅうどうぐもに なり、やがて
かみなりぐもに なっていきます。



字の ない はがき

むこうだくにこ げんさく かくたみつよ ぶん にしか な こ え
向田邦子 / 原作 角田光代 / 文 西加奈子 / 絵
しょうがくかん
小学館 (E あか / シ)

せんそうちゅう、まだ 字の かけない い
もうとが、かぞくと はなれて くらすこと
になりました。かぞくに げんきだと しらせる
ため、はがきに まるを かいて、おくりま
す。はじめは 大きな まるでしたが・・・。



イカ にんじゅつ 道場 ただいま 弟子 ぼしゅうちゅう

かとう さく おかだ え
香桃もこ / 作 岡田よしか / 絵
ふくいんかんしよてん
福音館書店 (J 913 / カ)

にんじゅつを きわめた イカしょうが、
どうじょう 道場を ひらきました。弟子いりした 海
の 生きものに、「くもがくれじゅつ」や「か
わりみのじゅつ」を おしえます。弟子た
ちは、にんじやに なれたでしょうか。



ちきゅうの なかみ

ながさき なつみ さく しのざきみつ お え
長崎夏海 / 作 篠崎三朗 / 絵
こみねしよてん
小峰書店 (J 913 / ナ)

ふうこは、じしゃくを つかって、さてつ あつ
めをするのが だいすき。ある日、川原で
あつめた さてつをもって、川の そばの
びょういんへ いきました。だれかに みせ
て じまなしたいと おもったのです。



パンの かけらと ちいさな あくま リトアニア民話

うちだり さこ さいわ ほりうちせいち が
内田莉紗子 / 再話 堀内誠一 / 画
ふくいんかんしよてん
福音館書店 (E みんわーあお)

ちい
小さな あくまは、びんぼうな 木こりから
おべんとうの パンの かけらを めすみまし
た。大きな あくまたちに しかられた 小
さな あくまは、おわびに 木こりの やくに た
とうと めまを むぎばたけに かえました。



あたまをつかった 小さな おばあさん

ホープ・ニューウェル / 作 松岡享子 / 訳 山脇百合子 / 画
ふくいんかんしよてん
福音館書店 (J 933 / ニ)

むかし、小さな きいろい 家に すんでい
る 小さな おばあさんが いました。おば
あさんは びんぼうでしたが、あたまをつ
かって なんでも うまく きりぬける こと
が できました。どんなふうにあたまをつ
かったのでしょうか？



あかい ろうそく

にいみなんきち さく すずきとしお え かん
新美南吉 / 作 鈴木寿雄 / 絵 フレーベル館 (J 726 / ニ)

さとへ あそびに いった さるが、あかい
ろうそくを ひろいました。さるは、ろうそく
を はなびだと おもいこみ、だいに
山へ もって かえりました。よるに なり、
はなびを みようと どうぶつたちが
あつまってきました。

